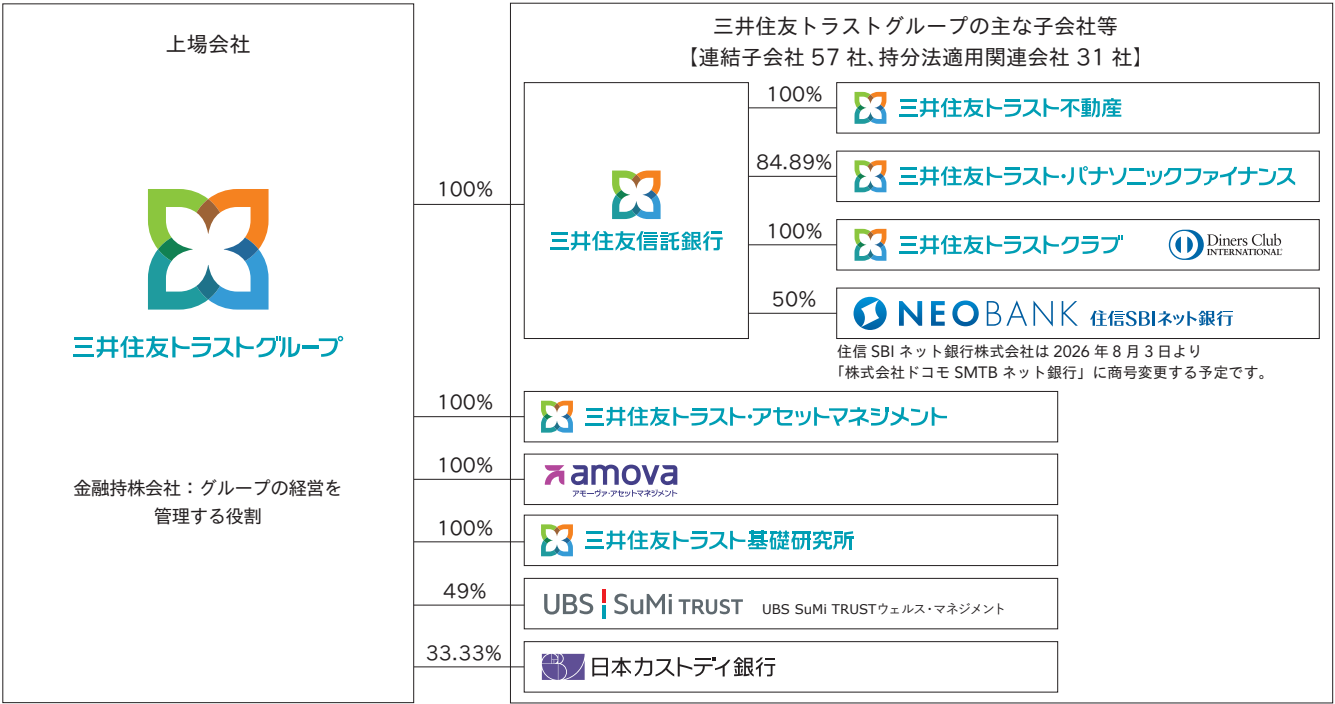


01 主な関係会社（2026年3月末現在）



※議決権の所有割合を％で記載しています（子会社による間接所有を含む）。

02 三井住友トラストグループのステイタス（2026年3月末現在）

信託（手数料） ビジネス	資産運用残高	167兆円	国内金融機関 第1位 ^{※1}
	資産管理残高 ^{※2}	265兆円	国内金融機関 第2位 ^{※3}
	企業年金受託残高	15兆円	信託 第1位
	年金総幹事件数	1,262件	信託 第1位
	不動産証券化受託残高	33兆円	信託 第1位 ^{※3}
	証券代行管理株主数	4,820万人	信託 第1位
	遺言書保管件数	44,047件	信託 第2位
	金銭債権信託受託残高	22兆円	信託 第1位
銀行 ビジネス	法人向貸出残高	23兆円	本邦銀行 第5位
	総貸出残高	34兆円	本邦銀行 第5位

※1 2024年12月末時点 ※2 信託財産残高。資産管理専門信託銀行は信託財産に多くの再信託受託分を含むため除外しています。 ※3 2025年9月末時点

編集方針

今般、投資家を中心としたステークホルダーの皆さまにグループの取り組みについてご理解いただくために統合報告書を作成致しました。本報告書においては、創業以来、「託された未来をひらく」存在として、我が国の発展に貢献してきた当グループが、パーパスのもと、「資金・資産・資本の好循環」をより一層促進するための具体的な取り組みや企業価値向上について説明しています。編集にあたっては、国際統合報告フレームワークを参考に、財務情報のみならず、ビジネスモデルや人的資本戦略、コーポレートガバナンス、サステナビリティなどの非財務情報の充実を図っています。また、当社のディスクロージャーポリシーに則り、適切に開示しています。なお、詳細な財務情報やサステナビリティ関連情報についてはディスクロージャー誌資料編、サステナビリティレポートおよびウェブサイトなどをご覧ください。

03 当社の概要（2026年6月末現在）

商号	三井住友トラストグループ株式会社
本店所在地	東京都千代田区丸の内1-4-1
設立日	2002年2月1日（2024年10月1日 商号変更）
主な事業内容	信託銀行を中核とする、三井住友トラストグループの経営管理機能を担う金融持株会社として、以下（1）～（10）を主な機能としています。 （1）経営管理統括機能（2）財務統括機能（3）人事統括機能 （4）総務統括機能（5）I&T統括機能（6）業務プロセス統括機能 （7）リスク管理統括機能（8）コンプライアンス統括機能（9）情報セキュリティ統括機能 （10）内部監査統括機能
資本金	2,616億872万5,000円
発行済株式総数	普通株式698,812,980株
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場、名古屋証券取引所 プレミア市場
証券コード	8309

シンボルマーク・コーポレートカラー



シンボルマーク



コーポレートカラー

当グループのシンボルマークであるフューチャーブルーム（未来の開花）は、「託された未来をひらく」という私たちのパーパスを象徴しています。

透明感のある4つの花卉は、お客さま・社会・株主・社員の各ステークホルダーに対する私たちのミッションを表すとともに、それぞれの色彩は、私たちのバリュー（行動規範）である「信義誠実」（ナチュラルグリーン）、「奉仕開拓」（ゴールドデンオレンジ）、「信頼創造」（ブルーグリーン）、「自助自律」（スカイブルー）を表しています。

コーポレートカラーは、シンボルマークが表現する価値観を統合し、親しみやすさとともに未来を感じさせる「フューチャーブルー」としました。

報告対象

期間：2025年4月から2026年3月（一部に2026年4月以降の情報も含みます）

範囲：三井住友トラストグループ

（三井住友トラストグループ株式会社、三井住友信託銀行株式会社およびその他の子会社・関連会社）

- 本誌は銀行法第21条および第52条の29に基づいた説明書類であり、当社のディスクロージャーポリシーに則り適切に開示しています。
- 本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものであることにご留意ください。